

巻頭言

理学療法士としての連盟活動



こんにちは。鹿児島県理学療法士連盟で組織局長をしております湯地です。

早速ですが、皆さんは臨床で理学療法スキルを駆使して患者様に理学療法を提供したり、研究や管理業務をされたりとあらゆる場面でご活躍されているのではないのでしょうか？想像してみてください。この普段、皆さんが日常的に行っている活動は確実に明日そして10年後のまだ見ぬ理学療法や患者様の将来に繋がっています。

不思議かもしれませんが連盟活動もこれと似ています。連盟活動はフィールドが違うため自分たちの身分保障を大前提にそして最前線に掲げています。これは自分たちの行う理学療法が社会的に保障されなければ目の前の患者様や利用者様に自分達の力を還元できないもしくはそのチャンスが絶たれる状況になるからです。半田会長は言われました。「連盟の役割は会員の安全保障」だと。

連盟活動は臨床と直接的な接点が少ないため分からないところも多々あると思います。是非、連盟からの情報にもアンテナを向けて頂き同じベクトルで理学療法士としての未来を創造しましょう！！ご協力、お願い致します。

医療法人 浩和会 きりしま内科リハビリクリニック
総務部長兼理学療法士 湯地英充

ホームページもご覧下さい

広報局からのお願いです。

これまでも広報紙の中で、鹿児島県理学療法士連盟のホームページのご案内をさせて頂いております。連盟会員の皆さんはご覧いただいておりますでしょうか。もし「見てないよ」という方がいらっしゃいましたら、是非覗いてみてください。

鹿児島県理学療法士連盟のホームページから各県の連盟ホームページや日本理学療法士連盟のホームページを見ることが出来ます。

大切なことは、ホームページのPV数を増やしていくことです。そうすることで、検索エンジンで上位になれます。

まだまだ「理学療法士」と検索しても「理学療法士連盟」にたどり着くには

時間がかかります。検索エンジンで上

位に表示されることになれば、活動の活性化につながります。なるべく多く投稿し、常に何らかの情報を掲載していくことが必要になります。どうしてもマンネリ化してしまいます。

こんな投稿をした方が良いのではないかと

今はこの情報が必要であろう。

そんな意見も頂きたいと思えます。会員の皆様で支えられている連盟活動です。色々な場面で皆様の意見を取り入れ、皆様と共に作る連盟活動になることを広報局としても願っております。

我々はまだまだメディア展開が弱いと思えますので、様々なご意見をお願いいたします。



「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標（第4075066号）です。

皆で学ぼう！政治とは何か？

The ballot is stronger than the bullet.

さて、前回まで「民主主義」とはということをもとめてみました。私たちが、「政治に参加しているな」と感じるのはいつでしょうか？国会中継をテレビで試しているときでしょうか？政治の話を家族や仲間としているときでしょうか？一番は「選挙」ではないでしょうか。これまでも書かせて頂きましたが、民主主義（民主制）は多数の意見を尊重する「多数決」によって進んでいきます。そのために、自分が託すことができる候補者に選挙の時に投票するのです。

しかし選挙はそれだけの意味ではありません。決められた期間、行われてきた政治が、本当に私たちの為になっているのかということも踏まえる意味もあります。例えば、ある期間行われた政治によって、生活に不利益や不都合が生じた場合、選挙によって私たちの代表者を変えることによ



て、その負の部分を取り戻すことも可能かもしれません。あるいは、今の政治が私たちの為になっているのであれば、再び同じ代表者を選ぶことによって、さらに生活は豊かになるかもしれません。つまり、選挙は私たちの生活の「定期検査」、体で言えば「定期健診」になっていると考えられます。

こんな言葉があるそうです。

「絶対的権力は、絶対的に腐敗する」どんなに優れたリーダー

であっても、長い間、権力を持ち続けると、リーダーに私利私欲で近づいてくる人たちが出てきます。そし

ていつの間にか、特定の人に有益な政治になってしまう。これが「腐敗」だと言えます。そうならないために「選挙」で定期的な検査を行うことは非常に大切です。こう考えると、投票所で渡される小さな紙ですが、私たちがそこに書く投票者の名前というものは重きものであることが理解できます。サブタイトルに英文を書かせて頂いていますが、「ballot」は「投票」、「bullet」は「弾丸」です。武力よりも一人一人の投票、選挙の方が強く、大きな意味を持つということなのでしょう。私たちは武力よりも強い選挙・投票という権利を大切に使わなければなりません。

(文責 広報局長 有村)

覗いてみたい あの人の理学療法士的思考

今回の「覗いてみたい あの人の理学療法士的思考」は医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院 リハビリテーション部 部長 鈴木伸洋先生にご執筆頂きました。どのような視点で日々臨床に望まれているのでしょうか？



皆さんは、理学療法士として仕事ができることに、どのような意義を持っていますか？

私は理学療法士としてのプライドと理学療法士として人と向き合えることへの有難みを持って仕事をしています。学生時代、バイザーの先生から「3H: Heart Hand Head」という言葉を教えていただきました。

“セラピストには、レベルの高い知識と技術が必要。でも何より一番大事なのは心だよ”と。また、イギリスの尊敬するPTの先生から「セラピストは人に直接触れ合い、その人の痛みや苦しみ、喜びや悲しみを感じることで出来る素晴らしい職業です。いい職業につきましたね」と言われました。一番尊敬するPTの先生からは、「患者様より先に諦めてはいけない。患者

様はあなたしか頼れないから。だから最後まで絶対に諦めてはいけません」と。

患者様は、理学療法士を選ばません。だから理学療法士として担当させていただくことには責任があります。しかし、患者様の思いのすべてをカタチにすることは今の医学では難しいことだらけです。でも、患者様の思いに寄り添えるのはセラピストだけだと思うのです。

だからこそ、知識を増やし、技術を高め、その人の人生にまた温かい日差しが灯るように寄り添える最後まで諦めない理学療法士でありたいと思っています。

理学療法士という素晴らしい職業を通して、皆さんの優しい心が患者様の苦しみを支えてくれることを願っています。



『「議員」と聞いてのイメージは？』

そう聞かれたら皆さんは何と答えますか。良いイメージで答える方は少ないのではと思うのです。ドラマに出てくる議員はどちらかと言えば悪役。これまでは、多くの連盟会員も「議員」と直接話をしたことも無い者がほとんどだったと思います。

しかし、本県連盟活動が始まってから、村山会長や赤崎事務局長の尽力があり、議員との交流をはかる機会が設けられています。

その中でも、最も身近な（こちらが勝手に思っています）存在の議員が「みやじ拓馬」衆議院議員ではないでしょうか。

我々、連盟会員は勿論、公益社団法人鹿児島理学療法士協会会員とも各地区で懇親会を催したことを記憶している方も多いのではないのでしょうか。

以前より、みやじ拓馬議員との意見交換会を要望しておりましたが、先日オンラインではありますが実現することができました。

今回はその報告を青年局長である岩森俊氏、感想を青年局副局長の福永裕樹氏、企画局長の小野恵氏にまとめて頂きました。

みやじ拓馬衆議院議員との意見交換会報告

令和3年4月1日、鹿児島県理学療法士連盟の今年度の活動のスタートは、衆議院議員みやじ拓馬氏とのZOOMを用いた意見交換会でした。約30名の参加をいただき、貴重な時間を過ごすことができました。私達からの事前質問に対しても、多方面にわたり情報収集していただき、みやじ議員の誠実さを感じると同時に人脈の広さに感服しました。

内容としては、

- ・医療制度のこと（報酬改定の仕組み、PT学校養成施設カリキュラム改定について等）
- ・新型コロナウイルスのこと（ワクチン接種・収束の定義とは？日本の人口動態等）
- ・印鑑、押印見直しのこと（現状、私たち理学療法士に関係するサイン、押印について等）

などといった最近の話題から、仲の良い有名人は？などといったフランクな質問、そして選挙に対する質問まで、丁寧に、そして私見も加えてお話していただきました。

参加者はその端々で、みやじ拓馬議員の、私たちの職業（理学療法士）に対する理解の深さと、今後に対する期待を生で感じる事が出来たのではないかと思います。

あっという間の2時間、時間が足りませんでした。是非皆様も、日ごろ、リハビリ室で同僚と話していること・疑問・要望、そのような声をみやじ議員に届けてみませんか？

このような会は今後も継続して開催していきたいと考えていますので気軽にご参加いただけたらと思います。（文責 青年局長 岩森）

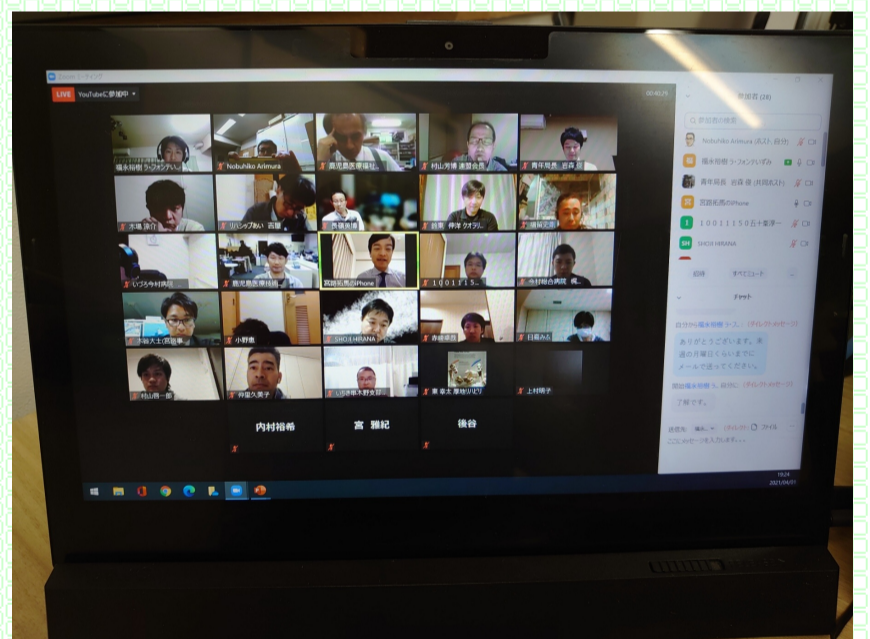
みやじ拓馬議員は現在、総務大臣政務官の役職として活躍され、『リハビリテーションを考える議員連盟』にも加盟しており、我々リハ専門職の活動を理解して頂いております。

当日は、新年度初日にも関わらず、理学療法士約30名の参加があり、事前質問を含め、多くの意見交換を行うことが出来ました。

質問として、診療報酬改定に至る過程、介護・医療保険でのリハ実施時の押印（サイン）についてといった我々医療・介護・福祉の分野に関わることが挙がりました。さらに今後、コロナ禍の収束に向けた動向や若年者へ向けた働きかけ等といった内容は多岐に渡る質問内容でした。それに対してみやじ拓馬議員から参加者への熱心かつ丁寧なお答えを頂きました。

会の中では、『政治は「正しいもの」と「正しいもの」との意見のぶつかり合い（戦い）の場である』という言葉がとても印象的であり、団体としての組織力、政治力の必要性を感じ、もっと行動しなければいけないと思いました。今後も、我々に理解ある方を応援し、理学療法士の政治への関心を高めていけるよう、活動して参りたいと思います。

（文責 青年局副局長 福永）



オンラインでもみやじ拓馬議員の政治に対する真摯な姿勢と暖かい人柄を感じることができました。参加者も非常にフランクに話をさせて頂きました。

みやじ拓馬議員との意見交換会に参加させていただきました。今回の意見交換会では、現在の活動状況なども含め、質問に対し丁寧にご回答いただきながら、多くのことをわかりやすく教えていただきました。会の中では、同世代だからとフランクに意見交換をさせていただける環境を提供してくださり、冗談や笑いもありながら、とても充実し楽しい時間となりました。「政治は戦いの場！正しいもの同士の戦い！」という言葉は、強く印象的に残り、政治があまり得意でない私も感銘を受け、こういう機会があるということはとても貴重ななと今回改めて感じました。（文責 企画局長 小野）

みやじ拓馬議員のテーマソング

意見交換会の中で「みやじ拓馬のテーマソングを聞いたことがあるか」という話題になり、私（広報局 有村）は聞いたことがなかったので、みやじ拓馬議員から「YouTubeで探せばある。一度聞いたら忘れられない。小学生からも人気がある。」ということで早速検索。

ありました。

みやじ みやじ たくま のフレーズ。

確かに忘れませんね。

何とみやじ拓馬議員自ら制作。歌は秘書さんとか。

皆さんも是非
YouTubeで
「みやじ拓馬 歌」と検索！

**連盟会員募集！HPから
随時募集しております
様々な企画を計画
是非一緒に
学ぶ・つながる**